



加治丘陵だより

令和 2 年 10 月 19 日

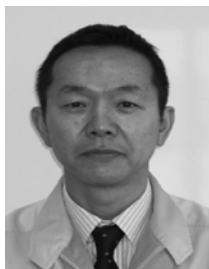
第 33 号

NPO法人
加治丘陵山林管理グループ

E-mail iruma@npo-kajikyuryo.net URL <http://www.npo-kajikyuryo.net>

本誌発刊に寄せて

入間市都市整備部長 栗原 庸之



本年 4 月 1 日より、都市整備部長に着任いたしました栗原庸之と申します。

NPO法人加治丘陵山林管理グループの会員の皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

今年は、新型コロナウイルスにより、何もかもが異例な対応を迫られ、例年 6 月に行われている貴団体の通常総会も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面開催となるなか、永年貴団体を率いてこられた大山理事長が勇退され、菱川新理事長となり、新たなスタートを迎えられました。大山前理事長には、これまでの加治丘陵山林管理業務での活動に深く感謝を申し上げ、また、菱川新理事長にはますますのご活躍をご期待

申し上げます。

さて、入間市では、平成 5 年度から加治丘陵の公有地化事業を進めており、令和元年度末には「加治丘陵さとやま計画」区域 424ha のうち、約 119.2ha、約 28.1% を取得でき、中でも自然公園区域 110.2ha では、取得面積約 60.9ha、取得率約 55.3% となり、半数以上を取得することができました。

自然公園区域内の施設整備では、「花見の丘」の整備を進め、貴団体の協力を得て、昨年度には伐採作業がほぼ終了し、今年度の植栽作業等を経て、来年度に仕上げの園名柱・道標等を設置し、令和 3 年度末の完成を目指しております。

年々増加する公有地の保全には、貴団体の皆さまの下草刈り、危険木の伐採等の管理作業とともに、加治丘陵の間伐材を活用した木道・階段・道標造りなどの卓越した技術は欠かすことのできないものと考えております。

加治丘陵の豊かで多様な自然は、市民の共有財産であることから、今後も同丘陵の管理・保全には貴団体のお力添えをいただき事業を推進していきたいと考えております。

結びに、会員の皆様方のご多幸と今後のご活躍を祈念し挨拶いたします。

令和 2 年度活動方針

理事長 菱川 浩次



今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の大変な環境でのスタートとなりましたが、健康に十分配慮しながら活動していきます。

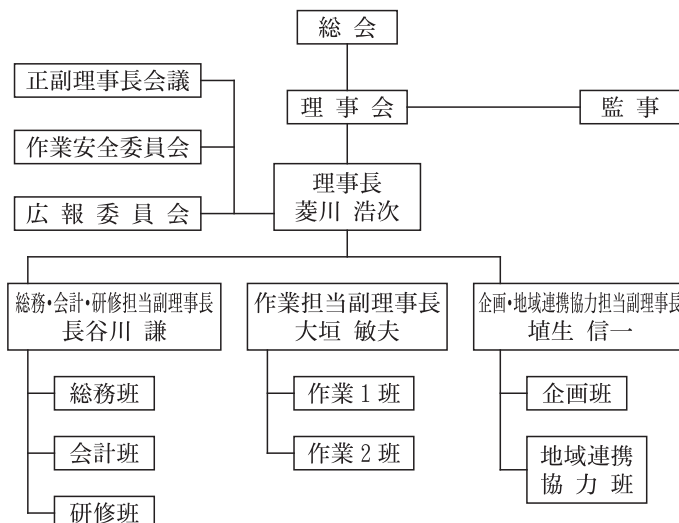
加治丘陵山林管理業務については、基本的には活動方針に変更はありませんが、18 年間の実績を基に無事故で、また、技術の継承をスピード感を持って進めなければならないと考えています。

新たに、長期的な視野に立った新たな取り組みを検討する企画班、地域との連携・協力を一層図るための地域連携協力班および組織運営を担う人材の育成を目指し研修班を新しい組織として明確にしました。

加治丘陵の素材を元にして、行政のご指導の下、地域社会に還元できることをいろいろ考え、チャレンジしていきたいと考えています。

組 織 図

(令和 2 年 7 月 1 日より)



令和2年度上半期活動状況

副理事長 大垣 敏夫

1. 作業実績

当期の作業実績は次のとおり。

下草刈り：85,114㎡ 樹木伐採：98本

当期は新型コロナウイルスによる外出自粛・3密回避、加えて梅雨の長雨、梅雨明けの猛暑が続く苦労の多い大変な半期でしたが、皆様のご協力で健康問題も起こさず予定工程を無事完了させることができました。ご協力有難うございました。



花見の丘の現状



貯木場への伐採木運搬作業

2. 実施工事

(1)入間市都市計画課との意見交換会 4月14日(火)

都市計画課との意見交換会が高橋副参事、坂口主幹および由井職員（今月入所された新人の方）の3名ご出席いただき開催されました。当グループからは、大山理事長、菱川副理事長、大垣副理事長および長谷川・埴生の各理事の5名が代表して出席しました。

高橋副参事からのご挨拶に続き、坂口主幹から今年度の予定事業の概要をご説明いただきました。その後、加治丘陵エリアの保全について意見交換をさせていただきました。今年度も安全に、市民に喜ばれる里山を築いていくことを確認し合って、交換会を終了しました。

(2)第18回通常総会 6月21日(日)

世界中に広がっている新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加型総会から前例のない書面表決型総会に変更し、当日、出席した新旧理事長、議長、議事録署名人の5名を除く全正会員113名から書面表決書又は委任状を提出していただき、全議案が全会員の承認のもと可決され、総会は無事終了しました。

(3)その他の行事

その他計画されていた安全研修および森林視察研修は、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度は中止することになりました。

また、会員親睦行事の第25回楽山ゴルフ大会も中止することになりました。

令和2年度下半期活動予定

副理事長 大垣 敏夫

1. 作業予定

下半期の作業予定は次のとおり。

下草刈り：35,800㎡ 樹木伐採：50本 丸太階段修理：200段 落ち葉掃き：1,250㎡

- ・平地林事業の整備、苦労の多い木材運搬等を伴う階段補修等が予定されております。皆様のご協力をお願いいたします。
- ・花見の丘については、業者による植樹等が予定されています。

2. 行事予定

- ・下半期に予定されていた忘年会、会員親睦行事等も新型コロナウイルスにより開催中止となりました。
- ・参加を計画していた第8回入間市環境フェアおよび万燈まつりは開催中止となりました。

会員情報

会員数

(令和2年9月末現在)

正会員 124名

賛助会員 11社

新入会員

(令和2年上半期)

会員No.504 黒田 健治

会員No.506 菱川 浩直

会員No.508 菱川 真綾

会員No.510 高谷 雅恵

会員No.512 高谷 千秋

会員No.505 菱川志津子

会員No.507 菱川 知子

会員No.509 高谷 進

会員No.511 高谷 夏美

※藍綬褒章ご受章おめでとうございます※

《令和2年春の褒章》

会員No.170 大山 久子様

賛助会員紹介（登録順）

会員名：株式会社 諸井造園 ～造園・土木・設計・施工・管理～

代表者：代表取締役 諸井 克彦

所在地：入間市高倉 1 - 9 - 17

連絡先：04-2964-2370（電話） moroi-l.s@kbh.biglobe.ne.jp（E-mail）

【弊社紹介】

生まれも、育ちも入間市高倉。家業の造園業を継いで46年、私で四代目。二代目が地元の高倉寺の境内に銀杏の木を植えた。昨年の秋、次期五代目となる息子とその銀杏の木の枝おろしをしてくれた。そんな大木の前に立ち、見上げると一言、二言、三言、言われそうな気がしてならない… 永い間業(なりわい)を大切にしてくられたのは、周りの人達から手を差し伸べられて来た温かい心の賜物と思う。感謝。感謝。感謝。

【当グループへの一言】

地球が出来た、海が誕生、アミノサンが出来て、生物が誕生。その生物の中に植物がいた。生物の中で唯一移動が出来ない故に相手がいなくても繁殖の手段を持っている。根、幹、枝、葉どこからでも増える。風を捕まえ、川を動物を鳥をはたまた昆虫まで使って種をばらまく最初の開発者といえる。海上自衛隊に木造戦艦が有るのを知っていますか。木造故に、最新兵器を回避することができるのです。恐るべし樹木、人が木に寄り添って「休」と書く。温もりを感じるからです。僅かな水分と僅かな養分で80年も経つと巨木に成る。今でも山では日光と水の奪い合いをしているそういう中で、水、空気、または、葉の基を作っている。そういう強者が集う山。NPO法人加治丘陵山林の男達よ、加治丘陵を宜しく頼む。

物故会員

ご冥福を心からお祈り申し上げます

会員No.382 宮岡 福司氏 令和2年7月17日没 前理事 享年80歳

会員No.139 栗原 桂一氏 令和2年8月19日没 享年67歳

会員No.13 大山 博氏 令和2年9月1日没 前理事長 享年81歳

当グループの設立準備から今年6月理事長をご勇退されるまで、12年間は事務局長として、その後の6年間は理事長としてグループ運営の中核として携わってられました。

私は、今日までの約40年間、気象記録を付け続けています。

記録を付け始めたきっかけは、昭和52年の大寒波によって当地の特産狭山茶が真っ赤に枯れてしまい、春一番茶の収穫が出来ないという大きな打撃を受けたことでした。

私は、当時、地元のJA(農協)に勤め、主な仕事として狭山茶の栽培指導と、牛蒡、ウド、里芋などの生産・販売の指導を行っていましたので、気象災害は常に関心とするものでした。依って、測定していた気象データは、農家の指導に大きく役立つこととなりました。

茶栽培の春の重要な作業は、基肥料施用、株ならし(剪定)、病虫害防除、霜害対策です。特に霜害対策は重要で、4月下旬から5月上旬の晩霜の季節、冷え込んだ早朝のひと朝の降霜が1年間世話をしてきた茶芽を台無しにしてしまいます。*防霜ファンの取り付けが効果大です。

この霜害が発生したときは、まず、早朝に市役所農政課の課長さんと私で市内の霜害を受け易い茶園を見聞して回り、その後の一斉調査で全体の被害状況をつかみます。非常に被害の大きいときは、市(県)から見舞金(霜害対策費)を、また、JAは樹生回復用の肥料を無償配布したことがありました。

野菜についても、台風、大雨による生育不良、降ひょう害による収穫の減少量の圃(ほ)場調査を行い、被害状況をつかみます。

私の気象データの測定は、①風通し良好で、雨が直接あたらない自宅テラスの柱に地上1.5mの高さで北向きに設置した寒暖計と②庭の植え込みから突き出ている杭に地上1mの高さで東向きに雨風を遮るものがない環境で設置した寒暖計の2台でそれぞれ最高と最低温度を計っています。

雨量は、植え込みの杭に寒暖計と同じ環境状況で設置した手製の雨量計で計っています。

過去40年間の測定データから、いくつかの記録をご紹介します。

1. 最高温度は、42℃ 発生日は平成30年7月22日、23日および8月2日、3日
近年は40℃を越える日が増加しています。
なお、今年は8月11日に41℃を記録しました。
2. 最低気温は、-18℃ 茶業試験場で-12.8℃(公的記録)
昭和52年3月6日発生し、早朝はダイヤモンドダスト現象が表れ、畑の土が30cm厚で凍結していました。
近年の冬は-10℃以下を記録する日は少なくなりました。今年はありませんでした。
霞川に氷が張らなくなりました。(-8℃になると凍ります。)
- 私の住んでいるところ(下谷ヶ貫地区)は、夏熱く、冬寒く、市内では別格な気象観測地です。
3. 1日の最多雨量は、390mm 令和元年10月12日
4. 年間最多雨量は、2350mm(平均年間1500mm) 発生年は令和元年
5. 最高降雪量は、60cm 平成28年1月19日
6. 最多積雪通算は、120cm 昭和59年1月から3月の間
7. 最も早い降雪日は、平成28年11月24日
8. 最も遅い降雪日は、平成22年4月17日
9. 雨なし記録は、平成22年12月23日から平成23年2月8日までの48日間
10. 短時間記録的豪雨は、290mm 平成28年8月22日(1時間100mm越え)
11. 平成5年7月、8月は全国的に冷夏で米の収穫が大幅減で全国米不足が発生

このような異常記録とならない安定した気象であることを望みたい。

記録は、これからも続けます。

～編集後記～ 令和2年度上半期は新型コロナウイルス感染拡大防止対策による活動自粛で心身ともに我慢の半期でしたが、会員の皆様お変わりございませんか。下半期の作業は計画どおり実施される予定ですが、行事の方は、大半が中止決定され、さみしい行事予定報告となっております。(編集委員長 埴生信一)